

リツキシマブBS投与を受ける患者さんへ

患者氏名:

主治医:

受け持ち看護師:

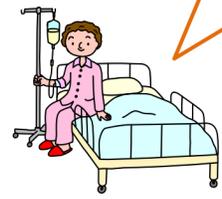
項目	投与日			
	投与前日	投与前	投与中	投与後
達成目標	・全身状態に異常がない ・リツキシマブの副作用が理解できる	・バイタルサイン(血圧、体温、脈拍、呼吸)が安定している ・インフュージョンリアクションの症状があればすぐに報告できる		
治療・内服 ・処置		<ul style="list-style-type: none"> ・投与する30分前にアレルギー症状を予防する薬を内服します □レスタミンコーワ 5錠 □カロナール400mg ・心電図のモニターを付けます(3回目以降は必要ありませんが、状況に応じて装着する場合があります) 	<ul style="list-style-type: none"> ・症状を確認しながら、初めはゆっくりと投与します ・問題がなければ徐々に速度を早めます ・点滴が始まって15分後、30分後、60分後、90分後、その後は1時間おきに体温、血圧、脈拍数などを測ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴終了後に体温、血圧、脈拍数などを測ります ・点滴終了後に主治医が異常なしと判断したら、心電図モニターを外します
検査	・採血 ・胸部と腹部のレントゲン ・心電図室での心電図検査			
食事	・制限はありません	・制限はありません		
清潔	・制限はありません	・治療開始(午前9時)までに入浴を済ませてください		
活動・安静度		<ul style="list-style-type: none"> ・点滴中はできるだけベッド上で安静にしてください ・アレルギー止めの薬を飲むと眠くなる場合があります ・動く時にふらつきを感じる場合には必ず看護師と一緒に移動します 		
排泄	・制限はありません	<ul style="list-style-type: none"> ・治療中～48時間の尿や便の中には治療薬が含まれるので、男性も座って排尿しましょう ・排尿後はトイレの蓋をして2度流してください ・トイレの後は必ず石鹸で手を洗いましょう 		
患者様及びご家族への説明 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師がオリエンテーションを行います ・薬剤師から治療薬の説明があります 			

インフュージョンリアクションとはアレルギー症状の一種です。1回目、2回目に多く起こります。そのままにしておくと命に影響を与える場合がありますので、以下のような症状がある時には、すぐに医療者へ報告してください。

- 寒気、発熱
- 咳、鼻づまり、息苦しさ
- 気分が悪い、頭痛、脱力感

リツキシマブBSが血管の外に漏れると、皮膚の炎症が起こることがあります。以下のような症状がある時には、すぐに医療者へ伝えて下さい。

- 腕の痛み
- 針の周りが腫れる
- 周りが赤くなる



注:イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は治療期間中のおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りに行かない場合もありますことをご了承ください。

なんでも
ご相談
下さい